

## 県外派遣報告書

審判員名	北島寛臣	所属	高体連		
大会名	平成26年度関東高等学校バスケットボール新人大会				
期間	平成27年2月6日(金)～8日(日)				
会場	ALSOKぐんまアリーナ				
スケジュール					
期 日	内 容	場 所			
2月6日(金)	審判会議	グレースイン前橋			
2月7日(土)	男女1, 2回戦	ALSOKぐんまアリーナ			
2月8日(日)	準決勝 決勝	ALSOKぐんまアリーナ			
会議 講義 内容					
<p>今大会指名審判員の谷古宇氏(東京)、吉田氏(埼玉)より「大会を望むに当たって確認すべきこと」というテーマで講義がなされた。谷古宇氏より試合を運営するにあたりルールの正しい理解、適用と処置。マニュアルはよりよいレフェリングのための道具であること。ゲームをコントロールするために技術、戦術、プレイヤー等の心理を理解することが項目別に説明された。ゲームを担当するために信頼される審判員でなければならない、などということが話された。吉田氏からは自身の経験や、試合に当たる準備のために自分自身をコントロールすることや、試合中に起こる突発的なことにどのように対応するかが大事である等が話された。</p>					
実技					
担当試合	期 日	平成27年2月7日(土)	男子	1回戦	
	対戦カード	八王子(東京)	VS	柏日体(千葉)	主審
	相手審判	大橋 司氏(群馬)			
ミーティング内容・反省		主任 菊池真吾氏(群馬)			
<p>試合の出だしに3つ笛を鳴らしたことで基準が作られ、その後は大きなこともなく試合が運営された。また、控えの選手が出てきたときに新たに笛を入れることにより基準を崩さず1試合通して安定して運営することができた。自分の中でも出だしの手で押さえるプレイ、オフボールのプレイ、オフンスファールの3つを取り上げることができたので選手にはしっかりと基準を示すことができたと思う。選手もその中で試合に集中できたのではないかなと思う。</p>					
担当試合	期 日	平成27年2月8日(日)	女子	準決勝	
	対戦カード	昭和学院(千葉)	VS	東京成徳(東京)	U 1
	相手審判	R: 渡辺整氏(本部) U2: 穂川苑子(群馬)			
ミーティング内容・反省		主任 小柳幸子氏(埼玉)			
<p>笛を鳴らすタイミングが遅い。プレイを見ている時間が少ないこと、初めからプレイを捕えなくてはならないことが必要であると指摘された。プレイを長い時間見ることは意識していたが、どこで決断するかという部分が薄かったように思える。特にインサイドの守り方、トラベリング、スクリーンプレイに対してしっかりとした判定が必要だと感じた。また、そのためには金曜日の講義にもあったとおりルールを正しく理解しなくてはならないと痛感した。もう一度ルールブックとプレイの映像を思い出し重ね合わせ確認したいと思う。</p>					
全体の感想					
<p>初日の試合では試合の序盤に基準を示すことができ試合の運営がスムーズにできたのではないかなと思う。しかし、準決勝の試合では自分のメンタル面の弱さや、判断力の足りなさ、決断力の足りなさが出てしまったように思える。今後はどのような割当、カードでも自分自身を出すことができなくてはならないため早急に修正しなければならない。講義でもあったように、そのためには判定の根拠となるルールブックを今一度再確認しルールの正しい理解とバスケットボールの技術についての理解を深める努力が必要であると感じた。</p> <p>今後も更に自分自身のレベルアップに努めなければならないことを痛切に感じた大会であった。</p> <p>最後に群馬県の皆様には大会期間中いろいろな面でご配慮いただき本当に感謝いたします。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。</p>					